

1 学期終業式に臨んで

令和元年 7月 22日

校長 近藤哲生

夏らしい暑い日が続きます。みなさんは若いとはいえこの夏も熱中症やけが等には気を付けてください。

今日で1学期は終わります、Mazda Zoom-Zoom スタジアムへの新入生歓迎遠足にはじまり、台湾の桃園市立観音高級学校からの訪問団との国際交流、はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会のボランティアなど、ルールを守った上で精力的に生徒の皆さんが動いてくれる姿に頼もしさを感じました。

さて、私が始業式で皆さんにお願いしたことを覚えていますか？

一点目は今年やりたいことの具体的な目標を持ってください。と言いました全国大会に出場を決めた。趣味で県大会に出ることが決まった。生徒会役員になった。ボランティアで地域の祭りやイベントに出るといふ人もいます。私との面接の中で具体的な進学先の大学や就職先の企業を目標に挙げてくれた人もいました。二つ目は自分の身体や命を大切にすること、仲間の身体や命を大切に、悪口やいじめ差別で一人でも佐伯ファミリーの一員が嫌な思いをすることのないように、お願いしました。自分の周囲の人に気遣ってくれたり、学校生活をよりよくするため自主的に門に立ち挨拶をし、声掛けをしてくれたり、校内を清掃してくれたりしてくれた人も多いように感じました。今後ともそういう目標を高く持ち、ボランティア精神を忘れず、仲間を気遣って学校生活を送っていただきたいと思います。

進路指導室の前の廊下に幕末に活躍し、近代日本を作り上げた多くの若者を育てた吉田松陰の言葉が掲示してあります。その内容は、

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」というものです。夢を持ち、理想を持って、目標を定めた人は次は計画をし、実行に移ってください。ぜひ将来の成功をめざして。

8月28日の始業式には健康的に日焼けした元気な顔に会いたいと思います。